

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・動画教材や調べ学習等を活用しながら授業を行ったことで、児童に興味関心をもたせ、楽しみながら学習させることができた。
- ・グラフや表などのデータから必要な情報を読み取ったり、分かったことを伝えたりする時間を意図的に設定したことで、資料を読み取る力がついている。

(2) 課題

- ・授業の中では意欲が高まり、進んで活動する姿は見られたが、そこで得た知識や技能がテストや他の場面で活用されることが少ない。
- ・単元を学習してすぐは記憶に残っているが、知識が定着しておらず時間が空いてしまうと忘れてしまうという課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	個人差はあるが、全体的に目標値を下回っている。		
第5学年	個人差はあるが、全体的に目標値を下回っている。	全体的に目標値を下回っている。(第4学年時)	
第6学年	個人差はあるが、全体的に目標値を下回っている。	全体的に目標値に達している。	全体的に目標値を下回っている。(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・「市の様子」では、土地利用の地図記号の理解をもとに、地図を読み取ることができている。しかし、四方位や建物の地図記号の理解に課題がある。 ・全体的に結果を読み取ったり、資料を読み取ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、グラフや資料から読み取ったことを自分の言葉で表現することに課題がある。 ・記述式の正答率が低いことから、資料から読み取ったことを言語化することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りなどの活動は意欲的に行っている。しかし、それが知識として定着している様子が見られない。 ・記述など自分の考えを書くときに、思い浮かばないと書かない様子が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八方位を読み取ることができる。 ・全体的にグラフや地図、年表などの資料の読み取りに課題が見られる。 ・用語を十分に理解できていない。 <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人差はあるが、グラフなどの資料を読み取ることができている。 ・「国土の自然などの様子」や「農業や水産業」など、知識として定着していない領域がある。 	<p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人差はあるが、資料をもとに判断することに課題がある。 ・個人差はあるが、資料をもとに考えを記述するなど、表現することに課題がある。 <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人差はあるが、全体的に資料をもとに考え、判断することができている。 ・記述問題の正答率が低いことから、考えたことを自分の言葉で表現することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や調べたことを新聞などにまとめる学習には意欲的に取り組む児童が多い。 ・記述など、分からないと全く書かずに諦めてしまう児童が一定数見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 用語などの知識が定着しやすいように、地図帳や写真等の資料を用いる。また、本時の学習を振り返る時間を設けるなどして、知識を定着させる。 ICT やタブレット端末を用いて資料に触れる機会を増やす。 資料から必要な情報を読み取る機会を意図的に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取る視点を具体的に示して読み取る機会を増やす。 新聞づくりを行ったり、模造紙に考えたことをまとめたりするなど、学習したことをもとに考えたことを表現する機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物や出来事、事象に関連付けて授業の導入を工夫したり、多くの資料を活用したりして児童の意欲が高まるようにする。 児童が自分で課題を見つけ、「話したい」、「伝えたい」という意欲をもてるような教材づくりや授業づくりを行う。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 授業の初めに前時の振り返りを行ったり、授業の終わりに本時の振り返りを行ったりするなどして知識の定着を図る。 情報を収集する場所や方法を示し、情報の収集の仕方を学ぶ経験を多くする。 日常から、以前に学習した内容に触れ、児童に問いかけることで知識を思い出す機会を意図的につくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 精選した資料の読み取る視点を明確にし、資料の読み取りを繰り返し行う。 まとめの学習として、新聞づくりなど積極的に行い、自分の考えを表現できる機会を増やす。また、毎時間の授業の中でも、社会的事象に対して自分の考えを表現する時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容に興味をもてるように、産業や工業、歴史や政治が自分たちの生活とつながりがあることに気付かせるような指導を行う。 単元のまとめを行う際に、新聞、ポスター、漫画の吹き出しやタブレットでまとめるなど児童が意欲的に取り組めるようにする。また、それらの方法を自分で選択させるなどして主体的に取り組めるようにする。